

勉誠出版

訓点語学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード: 0df40c942f
(使用期限: ~2021年6月30日)

謹啓

新緑の候、日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 0df40c942f (使用期限: ~2021年6月30日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

- ・**3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**

(※ 3000 円未満の場合は送料一律 300 円。なお日本国外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
訓点語学会の会員であることをお知らせください。***

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

在庫僅少本セール同時開催中！
リストを併せてご覧ください。

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。



勉強出版 注文書

Email info@bensei.jp FAX 03-5215-9025

※メール、FAX、郵送にてご注文を承ります。
※弊社ホームページのホーム画面上部のバナー「研究書 新刊・近刊のご案内」、もしくはお知らせ欄「研究書 新刊・近刊のご案内」より、注文書(PDFかエクセル)をダウンロードしてご記入のうえ、メールかFAXにて、お送りください。
※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。
※左の「チラシ」欄に★印のあるタイトルは、以下に詳細チラシもつけております。是非ご覧いただければ幸いです。

ご送付先(氏名・住所・電話番号)

通信欄 ※お支払い方法(公費・私費)、必要書類はこちらにご記入ください

※表示価格には別途消費税がかかります。 ※ISBNは978-4-585と末尾のチェックデジットを省略しています。					
チラシ	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格 冊数
◆近刊(ご予約受付中！)					
★	【ライブラリーぶっくす】変化する社会とともに歩む学校図書館	野口武悟 著	2021/4	20081	2,200
★	ベトナム語空間ダイクシスとその展開―指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓 著	2021/4	38001	10,000
★	杜甫研究年報 第四号	日本杜甫学会 編	2021/4	39444	2,000
	首里城を解く―文化財継承のための礎を築く(仮)	高良倉吉 監修／島村幸一 編	2021/5	32001	予価3,800
	中世寺院の仏法と社会(仮)	永村真 編	2021/5	31001	予価12,000
★	勤番武士の江戸滞在記―国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治 編	2021/5	32000	10,000
	坂口安吾大事典(仮)	安藤 宏・十重田裕一・大原祐治 編集代表	2021/5	20079	予価15,000
	もう一度読みたい古典文学(仮)	三宅晶子 編	2021/5	39001	予価2,400
	大宅壮一文庫解体新書―雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/5	30001	3,500
	【鉄幹晶子全集40】鉄幹晶子全集 別巻8―拾遺篇 書誌・年譜	逸見久美ほか 編	2021/5	01093	9,000
	中国の都市の記憶(仮)	和田博文・李 征・王 志松・高 潔 編	未定	未定	未定
◆日本語学・言語学					
★	日本語文字論の挑戦―表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡埜裕剛 編	2021/3	38000	7,000
★	コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/2	28052	8,500
★	日本書紀声点本の研究	鈴木豊 著	2020/3	28048	14,000
★	龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	2020/4	28050	18,000
★	近世後期テニハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	2020/1	28047	8,000
★	論究日本近代語 第1集	日本近代語研究会 編	2020/3	28521	15,000
★	サハ語文法―統語的派生と言語類型論的特異性	江畑冬生 著	2020/4	28049	9,800
	続 岐点の軌跡 老いてな岐点あり―老いてな岐点あり	北原保雄 著	2020/4	28503	4,500
◆事典・総記					
★	江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司 編	2021/3	20080	12,000
★	文化情報学事典	村上征勝 監修／金明哲・小木曾智信・中園 聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	2019/12	20071	18,000
◆歴史・文化財・美術史・思想史					
★	古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/1	22277	3,000
	増補改訂新版 日本中世史入門―論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/2	22280	3,800
	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編 国立歴史民俗博物館 監修	2020/2	22272	7,800
★	日本の装表と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/3	20073	7,000
★	古文書研究 第90号	日本古文書学会 編	2020/12	22417	3,800
	渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民 編	2021/2	22289	14,000
	古代の日本と東アジア 人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/7	22279	10,000
	新羅中古期の史的研究	武田幸男 著	2020/7	22278	12,000
	大嘗祭―隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編	2021/1	21057	3,800
	中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/2	22300	9,500
	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/2	22301	9,000
	金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集	永井晋 編	2020/9	22288	10,000
	鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/2	22297	3,800
★	中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明 著	2020/12	20077	15,000
	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/2	22257	10,000
	近世大名墓の考古学 東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/6	22276	12,000
	儒教儀礼と近世日本社会 閩斎学派の『家礼』実践	松川雅信 著	2020/7	21056	10,000
	生きるための地域史―東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志 編	2020/10	22290	8,000
	日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/2	22266	6,000
	近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容―北奥地域の事例研究	鈴木淳史 著	2020/2	22265	10,000
	近世都市の常態と非常態―人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス 編	2020/2	22267	7,000
	江戸日本橋商人の記録―(にんべん)伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/3	22269	11,000
	甞る「豊後切支丹史料」―パチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/2	22261	12,000
	琉球船漂着者の「聞書」世界―『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/3	29197	10,000
	新彰義隊戦史	大藏八郎 編	2020/9	22285	7,000
	明治の一発屋芸人たち―珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2021/1	27058	3,500
	アーネスト・サトウと蔵書の行方―『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山勝 著	2020/11	20078	4,200
	土地の記憶から読み解く早稲田―江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ 著／大内紀彦、フィリッポ・ドルネッティ 訳	2021/3	22299	2,700
	ロマンノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子 監修／牧野元紀 編	2020/8	22286	3,800
	スイス使節団が見た幕末の日本 プレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・プレんワルド日記研究会 編	2020/6	22275	9,800
	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/2	22268	17,000
	日本画の所在―東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/4	27055	6,500
	パブリックヒストリー入門―開かれた歴史学への挑戦【オンデマンド新版】	菅豊・北條勝貴 編	2021/4	82254	4,800
	新装版 唐物と東アジア―舶載品をめぐる文化交流史	河添房江・皆川雅樹 編	2021/4 重版	22140	2,000
	観相の文化史	相田満 著	2021/2	29203	9,000
	中国史書入門 現代語訳 北斉書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/3	29612	6,000
	宋代中国都市の形態と構造	伊原弘 著	2020/6	22069	4,500
	描かれたマカオ―ダーウエント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・木益宜・黄淑薇 編	2020/4	22262	22,000
	上海におけるプロテスタント 現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保 著	2020/5	21055	6,000
	ラジオの技術・産業の百年史―大衆メディアの誕生と変遷	岡部匡伸 著	2020/12	22295	5,400
	絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/1	24014	3,200
	バリ・ノートルダム大聖堂の伝統と再生―歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/3	31000	8,000
	メソアメリカ文明ゼミナール	伊藤伸幸 監修／嘉福茂・村上達也 編	2021/1	22296	5,000
	現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ 2 ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ	石田勇治・川喜田敦子 編	2020/9	22513	6,000
	現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ 3 ドイツ市民社会の史的展開	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史 編	2020/9	22514	6,000
	「本読み」の民俗誌 交又する文字と語り	川島秀一 著	2020/6	23081	3,500
	メディアのなかの仏教 近現代の仏教的人間像	森寛 編	2020/5	21054	7,500
	渋沢敬三とアチック・ミュージアム―知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治 著	2020/1	22263	3,500
	荒れ野の六十年―東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤 著	2020/1	22264	3,200

◆古典文学・文学史					
*	物語文学の諸相と展開	中野幸一 著	2021/3	39000	12,000
*	中世和歌論—歌学と表現と歌人	中川博夫 著	2020/11	29199	12,000
*	和漢朗詠集とその享受 増訂版	三木雅博 著	2021/1	29202	15,000
*	真田幸弘点取百韻 翻刻と解題	玉城司・小幡伍 編著	2021/2	29204	9,000
	中国古典文学に描かれた劇・井戸・簀—民俗学的視点に基づく考察	山崎藍 著	2020/11	29200	9,000
	韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植 著	2021/2	29201	11,000
	挑発する軍記	大津雄一 著	2020/10	22292	3,800
	江戸庶民のまじない集覧—創意工夫による生き方の智慧	長友千代治 著	2020/10	20076	6,000
	医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/2	20072	12,000
	水門—言葉と歴史 第二十九号	水門の会 編	2020/1	22443	3,500
	本朝文粹抄 六	後藤昭雄 著	2020/2	29224	3,200
	仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合 全注釈	石川一 編	2020/3	29195	10,000
	南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾 著	2020/3	22270	7,000
	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/2	29196	10,000
	明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一 編	2020/1	29193	7,500
	杜甫研究年報 3 杜甫研究年報 第三号	日本杜甫学会 編	2020/5	29443	2,000
	お伽草子超入門	伊藤慎吾 編	2020/7	29188	2,800
	白居易研究年報 最終号・第20号 特集 歌舞音曲 附 日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会 編	2020/9	07098	9,000
	吉田松陰と学人たち	徳田武 著	2020/9	22291	10,000
	漱石文体見本帳	北川扶生子 著	2020/1	29189	2,800
	ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京	日本近代文学館 編	2020/4	29163	2,800
	同性愛文学の系譜—日本近現代文学におけるLGBT以前／以後	伊藤氏貴 著	2020/2	29191	2,800
	平川祐弘決定版著作集 ダンテ『神曲』講義	平川祐弘 著	2020/2	29422	10,000
	平川祐弘決定版著作集 西洋人の神道観—日本人のアイデンティティを求めて	平川祐弘 著	2020/3	29416	8,000
	平川祐弘決定版著作集 東の自生観と西の創造観	平川祐弘 著	2020/3	29428	14,000
	平川祐弘決定版著作集 開国の作法	平川祐弘 著	2020/4	29429	14,000
	平川祐弘決定版著作集 アーサー・ウェイリー 『源氏物語』の翻訳者	平川祐弘 著	2020/7	29424	14,000
	アメリカ現代詩入門—エズラ・パウンドからボブ・ディランまで	原成吉 著	2020/2	29192	3,500
	100人の作家で知る ラテンアメリカ文学ガイドブック	寺尾隆吉 著	2020/3	29194	2,800
◆図書館学・アーカイブ					
	日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/3	20074	3,500
	【デジタルアーカイブ・ベシックス4】アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	20284	2,500
	【デジタルアーカイブ・ベシックス3】自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村寛 責任編集	2020/4	20283	2,500
	【ライブラリーぶっくす】司書のお仕事2 本との出会いを届けます	大橋崇行 著／小曾川真貴 監修	2020/10	20075	1,800
◆統計学					
	この本を書いたのは誰だ？—統計で探る“文章の指紋”	村上征勝 著	2020/4	29198	1,800
	R・Pythonによる 統計データ科学	杉山高一・藤越康祝 監修	2020/2	24011	2,700
◆アジア遊学					
	242 中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人 編	2020/1	22708	2,800
	243 中央アジアの歴史と現在—草原の叢智	松原正毅 編	2020/3	22709	2,400
	244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記 編	2020/3	22710	3,200
	245 アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊 編	2020/3	22711	2,800
	246 和漢のコードと自然表象—十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子 編	2020/4	22712	2,800
	247 移動するメディアとプロパガンダー—日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代 編	2020/4	22713	2,800
	248 明治が歴史になったとき 史学史としての大久保利謙	佐藤雄基 編	2020/6	22714	2,800
	249 漢学とは何か 漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城 編	2020/7	22715	2,800
	250 酔いの文化史 儀礼から病まで	伊藤信博 編	2020/8	22716	2,800
	251 仏教の東漸と西漸	荒見泰史 編	2020/9	22717	2,800
	252 中世日本の茶と文化 生産・流通・消費をとおして	永井晋 編	2020/9	22718	2,800
	253 ポストコロナ時代の東アジア 新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平 編	2020/9	22719	2,800
*	254 東アジアの歌と文字	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 編	2021/2	32500	2,800
	255 東アジアにおける知の往還	国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 共編	2021/3	32501	2,800
◆書物学					
	第18巻 蔵書はめぐる 海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/7	20718	1,800

藤本幸夫〔編〕

（ふじもと・ゆきお）富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞・恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究 集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡 鑑研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究 史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

書物・印刷・本屋

図版点数
390超

日中韓をめぐ 本の文化史

- 第一部 書物のかたち・書物のジャンル
- 第二部 印刷・活字・技術
- 第三部 本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、各国各地に於いて民間の商業出版——坊刻本——の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

- 書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- 書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
- 学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- 390点を超える貴重な図版資料を収載。

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

執筆者一覧

- 第一部：佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤圭子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
- 第二部：住吉明彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
- 第三部：鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

定価 一七、六〇〇円（税込）
（本体 一六、〇〇〇円）
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-30002-1 C3000

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書 名		部 数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	定価 17,600円・本体16,000円	部
	B5判上製カバー装・896頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-30002-1 C3000	
藤本幸夫 〔編〕		
ご送付先ご住所（通信欄）		

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

〈詳細目次〉
序文……………藤本幸夫

●第一部……………書物のかたち・書物のジャンル

佐々木孝浩……………	〈古写本〉	日本の写本——装訂を中心として
柏崎順子……………	〈江戸版〉	初期出版界の様相
木村八重子……………	〈草双紙〉	「草双紙」の史的展望
棚橋正博……………	〈黄表紙〉	黄表紙
佐藤至子……………	〈合巻〉	合巻における自主規制 ——『三国太郎再来伝』から『現世扶桑太郎』へ
鈴木圭一……………	〈中本（人情本）〉	中本二編三冊意識
石上阿希……………	〈春画・艶本〉	「書籍目録」にみる枕絵と好色本
大久保純一……………	〈錦絵〉	錦絵とは
湯浅淑子……………	〈おもちゃ絵〉	江戸のおもちゃ絵
鈴木俊幸……………	〈草紙類〉	上方の草紙類をめぐる
万波寿子……………	〈仏書〉	日本の仏書
鈴木達彦……………	〈医書〉	日本漢方の特徴と日本医書

●第二部……………印刷・活字・技術

住吉朋彦……………	〈宋版・元版〉	宋元版研究の道程
堀川貴司……………	〈五山版〉	五山版をどう考えるか
長澤孝三……………	〈和刻本〉	「和刻本」について
豊島正之……………	〈キリシタン版〉	キリシタン文獻
林進……………	〈古活字版〉	角倉素庵はなぜ出版事業を興したのか——近世初頭、草創期の古活字版
高木浩明……………	〈古活字版〉	古活字版から整版へ、整版から古活字版へ
森上修……………	〈古活字版〉	古活字版印刷と木活字駒の彫出技法
小秋元段……………	〈出版史料としての反古〉	東北大学附属図書館蔵石文庫所蔵古活字版『太平記鈔・音義』表紙の復元的考察
渡辺守邦……………	〈出版史料としての反古〉	表紙裏反古・再考
橋口侯之介……………	〈彫りと摺り〉	彫師・摺師から見た日本の出版形態
永井一彰……………	〈版木〉	板木の節

●第三部……………本屋・商業出版・蔵書

鈴木俊幸……………	〈日本近世の本屋〉	本屋と出版——江戸時代における書籍文化の特徴
塩村耕……………	〈日本近世前期の商業出版〉	近世前期の出版界と西鶴
長友千代治……………	〈貸本屋〉	貸本屋の横顔
岡村敬二……………	〈蔵書・蒐書（日本）〉	蔵書家の索引、蔵版、蔵書の行方
大沼晴暉……………	〈蔵書・蒐書（日本）〉	田中さんのおもちゃ箱——小平市立図書館蔵本
大沼晴暉……………	〈日中韓の商業出版〉	日中韓坊刻本の比較研究或いは此等二か国書物の比較研究のために
大木康……………	〈中国の商業出版〉	中国書肆史考——近世を中心に
大塚秀高……………	〈中国の商業出版〉	坊刻本と物語——口頭の物語の出版について
金文京……………	〈中国の商業出版〉	明代建陽の商業出版と通俗小説
上原究一……………	〈中国の商業出版〉	明末清初の坊刻における江西の位置付けについて
高橋智……………	〈蔵書・蒐書（中国）〉	中国の蔵書家について
藤本幸夫……………	〈朝鮮の商業出版〉	朝鮮坊刻本攷
李胤錫……………	〈朝鮮の商業出版〉	朝鮮朝出版における坊刻本の性格と位置
全相昱……………	〈朝鮮の商業出版〉	坊刻本「春香伝」の発生とその変貌について

あとがき……………藤本幸夫
執筆者覧

日本語文字論の挑戦



表記・文字・文献を考えるための17章

ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字等、世界的にも珍しい多文字種環境を有する日本語。古来、日本人にとって「文字」は、意思疎通のための情報ツールであると同時に、彼我の文化に架橋するための媒体であった。古代から現代までを視野に「書く」「読む」「学ぶ」「残す」という文字の諸機能に着目し、日本語における「文字論」の豊かな世界を示す初めての一冊。

加藤重広・岡墻裕剛〈編〉

かとう・しげひろ●一九六四年生まれ。北海道大学文学研究教授(言語科学研究室)。専門は日本語学・言語学。著書に『日本語統語特性論』(北海道大学出版会、二〇一三年)、『言語学講義』(筑摩書房、二〇一九年)などがある。

おかがき・ひろたか●一九八〇年生まれ。神戸女子大学文学部日本語日本文学科学准教授。専門は日本語学表記・漢字。著書に『B・H・チェンバレン』(文字のしるべ)『影印・研究』(編著、勉誠出版、二〇〇八年)などがある。

もくじ

まえがき「岡墻裕剛」

第1部：言葉はどう書くか

日本語の表記システムとその特徴

——日本語の言語学的文字論として「加藤重広」

近・現代小説の片仮名の用法一斑

——村上春樹『海辺のカフカ』を中心に「金水敏」

古代中国語における漢字の表語現象の諸相「松江崇」

平安時代の真仮名「乾善彦」

第2部：文献をどう読むか

訓点研究「超入門」小助川貞次

篆隸万象名義における漢文節の意味注記について「李媛」

図書寮本『類聚名義抄』における掲出語と注文の対応について「申雄哲」

辞書と文献の比較に基づく定訓論の再検討

——キリシタン版『落葉集』と『きやどべか』を中心として「白井純」

明治期における基本漢字文献の諸相「岡墻裕剛」

第3部：文字をどう学ぶか

『文選』の学習——訓点資料を通して見えてきたこと「渡辺さゆり」

学びの系譜とその豊饒——江戸寺子屋教科書往来物資料を中心に「萩原義雄」

変体仮名を学ぶ小学生「岡田一祐」

米国陸海軍日本語学校の漢字教材「kanji book」高田智和

第4部：文化をどう残すか

京都の「天橋立」を表す日本製漢字の展開と背景

——「運」(運)を中心に「笹原宏之」

「蝦夷記」のアイヌ語申渡文における仮名の用法「佐藤知巳」

「仮名」と「仮名」仮名をめぐるいくつかの問題「富山日出夫」

漢字字体研究と日本古辞書データベースの構築「池田証壽」

あとがき「加藤重広」執筆一覧

定価七、七〇〇円(税込)
本体七、〇〇〇円

A5判並製カバー装・四三三頁
二〇二一年三月刊行
ISBN978-4-585-38000-9 C3081

書名	部数
日本語文字論の挑戦 表記・文字・文献を考えるための17章 加藤重広・岡墻裕剛〈編〉	部
定価7,700円(税込)・本体7,000円 A5判並製カバー装・432頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-38000-9 C3081	
ご送付先ご住所(通信欄)	

コーパスと 近代日本語書き言葉の 一人称代名詞の研究

近藤明日子 [著]

本体 8,500 円(+税)

A5判上製カバー装・400頁
ISBN978-4-585-28052-1 C3081
2021年2月刊行

【目次】

序

Ⅰ 本研究で使ったコーパスと研究方法

- 第1章 近代雑誌コーパスの設計
第2章 一人称代名詞と使用場面属性の抽出・分類
第3章 言語量から見る近代雑誌コーパスの資料特性

Ⅱ 近代書き言葉の一人称代名詞

- 第4章 『明六雑誌』の一人称代名詞
第5章 『東洋学芸雑誌』の一人称代名詞
第6章 『国民之友』の一人称代名詞
第7章 『太陽』の文語体書き言葉の一人称代名詞
第8章 明治・大正期の文語体書き言葉における一人称代名詞の通時的変化
第9章 『太陽』の口語体書き言葉の一人称代名詞

Ⅲ 近代話し言葉の一人称代名詞

- 第10章 『太陽』の口語体会話文の一人称代名詞

Ⅳ 女性雑誌の一人称代名詞

- 第11章 女性雑誌の書き言葉の一人称代名詞
第12章 女性雑誌の口語体会話文の一人称代名詞

結

参考文献・参考URL
本書と既発表研究との関係
謝 辞
索 引

新漢語の発生や言文一致の進展に代表されるように、約60年という短期間に書き言葉が劇的に変化した明治・大正期。この時期には活版印刷技術の普及やマスメディアの発達により、膨大な量の書き言葉の資料が出版され流通した。

本書では、そのような急激な変化を内包した資料群の縮図とも言える近代雑誌のコーパスを使用して、先行研究でほとんど扱われてこなかった明治・大正期の書き言葉における一人称代名詞の体系と通時的変化について分析・考察する。

一人称代名詞という言語項目の研究そのものとともに、それを果たすために、著者自らも構築に携わった近代雑誌コーパスの設計・資料特性の研究も展開。

コーパスの活用により浮かび上がる 近代日本語史の知られざる側面

【執筆者プロフィール】

近藤明日子 (こんどう・あすこ)

国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員。専門は日本語学。

著書に『シリーズ〈日本語の語彙〉5 近代の語彙①——四民平等の時代——』（共著、朝倉書店、2020年）、論文に「語種率・品詞率から見る明治・大正期の口語体実用文」（『近代語研究 第二十一集』武蔵野書院、2019年）、研究業績に『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅱ教科書』（短単位データ1.0）（共同開発、国立国語研究所、2018年）、『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅰ雑誌』（短単位データ1.2）（共同開発、国立国語研究所、2019年）、『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅲ明治初期口語資料』（短単位データ0.8）（共同開発、国立国語研究所、2019年）などがある。

書 名	部 数
コーパスと近代日本語書き言葉の 一人称代名詞の研究 近藤明日子 [著]	本体8,500円(+税) A5判上製カバー装・400頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-28052-1 C3081
ご送付先ご住所（通信欄）	

論究 日本近代語 第1集

日本近代語研究会 [編]

創刊!

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字、文法、語彙といった日本語学の
観点から詳細に分析した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

本体 15,000 円(+税)

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2 C3081
2020年3月刊行

第1集【目次】

創刊の辞 ■日本近代語研究会

連語から見た『徒然草』第1部・第2部

——接続機能表現のプレ近代化と文体—— ■安部 清哉

キリシタン版辞書での同音異義と一語多義 ■豊島 正之

キリシタン版『日葡辞書』「序文」の二重印刷に見る編纂方針について ■中野 遙

ミギテの通時的考察

——〈右の手〉〈右の方〉を表す周辺語句の変遷との関わりを中心に—— ■木川 あづさ

『雑字類編』の書き入れ語——『福恵全書』との関連を巡って—— ■荒尾 頼秀

『語学新書』における格理解

——国学の言語研究をどのように取り入れたか—— ■服部 紀子

明治期の漢字の「かたち」について——『天変地異』を資料として—— ■今野 真二

『世界商売往来』の依拠資料について ■丸山 健一郎

『[校正・増補]漢語字類』における漢字字形のバリエーションについて ■内田 久美子

日本における「ウラジオストク」の漢字表記 ■シャルコ アンナ

『言海』校正刷における漢字字体／字形について ■小野 春菜

「續々金色夜叉續編」・「新續金色夜叉」の四種本文対照

——「讀賣新聞」、「新小説」、「紅葉全集」、「七版續々金色夜叉」—— ■許 哲

日本統治期台湾の初等國語教科書における一人称代名詞

——国定教科書との比較を通して—— ■山田 実樹

テキストアナリシスによる明治期日本語教科書『日語活法』の検証 ■伊藤 孝行

宏文学院の日本語教師編纂の会話教科書における謙讓表現

——『東語会話大成』を中心に—— ■薛 静

台湾の日本語教育月刊誌『国光』(昭和7年創刊)における投稿文の資料性

——誤用と誤文訂正を中心に—— ■園田 博文

日仏オノマトペの対照

——宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』と *Gauche le violoncelliste*—— ■瀬川 愛美

上田万年をマンネンと呼ぶは礼か非礼か

——近代日本における〈名の字音読み〉習俗の人称—— ■三浦 直人

「わりに」・「割合に」の歴史的変遷

——接続助詞用法と副詞用法の関連を中心に—— ■川島 拓馬

丁寧体否定形式「～ませんです」の動向

——「国会会議録検索システム」を例に—— ■神作 晋一

日本語教育における授受表現の効果的な教え方と

そこに見る日本人の「ウチとソト」感覚 ■木下 哲生

現代語における接続助詞の用法のトコロについて ■佐伯 暁子

職場の会話における副詞の使用——職場談話コーパスを調査資料として—— ■吳 雨

「なるほど」考——応答表現としての意味・用法—— ■荻宿 紀子

現代語の副助詞デモの各用法について

——いわゆる「譲歩」「極端」と「例示」の関係について—— ■星野 佳之

索引／執筆者一覧

編集後記 ■小野正弘

書 名	部 数
論究 日本近代語 第1集	本体 15,000 円(+税)
日本近代語研究会 [編]	A5判上製カバー装・424頁 2020年3月刊行 ISBN978-4-585-28521-2 C3081
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

近世後期テニヲハ論の展開と活用研究

遠藤佳那子〔著〕

日本語文法研究史を辿るための必読書！

漢文訓読や歌論・連歌論等、

日本語に関わる人々の関心事であり続けた「テニヲハ」。

近世後期に入ると、国学者たちはテニヲハの研究を深め、

陸続と語学書や活用表が編まれた。

現代とは異なる範囲と尺度を持つその活用表は、

語学的な営為の結晶であるとともに

歌学・古典学の精髓でもあった。

近世の伝統的なテニヲハ研究を、

動詞の活用研究との関係から辿り、

近代的文法研究にどのような影響を与えたのかを検討。

国学研究の地平に肉薄し、その射程を読み解く。

附録として未発表資料、

黒川真頼『詞の栞』影印・翻刻を掲載。

【平成三十年度 新村出記念財団重山文庫 刊行助成出版】

*「テニヲハ」とは：

助詞・助動詞のことを指す。「テニヲハ」という用語はヲコト点の四隅にある点が起源とされ、はじめは漢文訓読や和文の漢字表記を試みる過程において問題とされた。その一方で、歌論や連歌論の世界でも和歌や連歌を創作する際に、歌の出来を左右する要として重要視されたため、「テニヲハ」は最重要項目の位置を占めた。

〔目次〕

口絵 黒川真頼 草稿『詞の栞』影印

巻頭言◎服部隆

はじめに／序章

第一部 完了「リ」の学説史

第一章 完了「リ」考——鈴木服部

第二章 完了「リ」考——本居春庭以降

第三章 「自他」再考

第二部 命令形の学説史

第四章 「命令形」考

第五章 続「命令形」考——明治前期における

第六章 「属」考——意味分類の試み

第三部 八衢の系譜

第七章 黒川真頼の活用研究と草稿『語学雑図』

第八章 黒川真頼における『詞八衢』の受容と展開

終章

おわりに

【附録一】東京大学国語研究室蔵 黒川文庫目録（語学

之部）小型本／黒川文庫 小型本 調査報告

【附録二】黒川真頼 草稿『詞の栞』影印・翻刻（一部）

【附録三】黒川真頼『詞乃栞打聴』翻刻

参考文献・引用文献一覧／初出一覧／索引

〔著者紹介〕

遠藤佳那子（えんどう かなこ）一九八六年生。上智大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程満期退学。博士（文学）。現在、都留文科大学・フェリス学院大学・実践女子大学非常勤講師。専門は日本語学、日本語学史。主な論文に「「自他」再考——近世テニヲハ論における」（『上智大学国文学論集』50、二〇一七年）、「明治前期の活用表における「命令形」（『日本近代語研究』6、二〇一七年）、「黒川真頼における『詞八衢』の受容と展開」（『国語と国文学』94、二〇一七年）などがある。

本体 八、〇〇〇円（＋税）

A5判上製カバー装・三四四頁

二〇二〇年一月刊行

ISBN978-4-585-28047-7 C3081

書 名	部 数
近世後期テニヲハ論の展開と活用研究 遠藤佳那子〔著〕	本体8,000円（＋税） A5判上製カバー装・344頁 2020年1月刊行 ISBN978-4-585-28047-7 C3081
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

日本書紀声点本の研究

鈴木 豊〔著〕

〔目次〕

はしがき／凡例

序論

第一部 『日本書紀』声点本の資料価値に関する研究

- 第1章 『日本書紀』神代巻の声点
第2章 乾元本紀所引『日本書紀』の声点について
第3章 乾元本『日本書紀』万葉仮名訓の声点
第4章 岩崎本『日本書紀』の声点
第5章 訓読漢字の声点のアクセント表示法
第6章 『日本書紀』被訓注字の声点
第7章 『古語拾遺』の声点
第8章 『日本書紀』声点本の濁音表示
第9章 『古語拾遺』声点本の濁音表示
第10章 『日本書紀』a群の万葉仮名

——原音声調と日本語アクセントとの対応——

第二部 『日本書紀』声点本の成立過程に関する研究

- 第1章 『弘仁私記』序の「以丹点明輕重」
第2章 乾元本紀所引『日本書紀』の万葉仮名
第3章 『日本書紀』古写本中の万葉仮名表記の和訓
第4章 (付)『日本書紀』古写本中の万葉仮名訓語彙索引
第5章 延喜『公望私記』の構造
第6章 日本書紀講書とアクセント

第三部 平安時代京都アクセントに関する研究

- 第1章 和語声点資料の差声方式
第2章 助詞の「の」アクセント
第3章 アクセント史研究における拍内下降
第4章 平声軽点の消滅過程
第5章 アクセント体系大変化の要因
第6章 『金光明最勝王經音義』所載「以呂波」のアクセント
第7章 いろは歌の作者について——いろは48字説の検討——

結論

参考文献／あとがき／初出一覧

〔著者プロフィール〕
鈴木 豊(すずき・ゆたか)
文京学院大学外国語学部教授。専門は日本語学。
著書・論文に『日本語アクセント史総合資料索引篇』『同研究篇』(秋永一枝・上野和昭・坂本清恵・佐藤栄作氏と共編、東京堂出版、一九九七・一九九八年)、『日本書紀神皇卷諸本声点付語彙索引』(アクセント史資料研究会、二〇〇三年)、『連濁研究史——ライマンの法則を中心に——』(ティモシー・J・パンス、金子恵美子、渡邊靖史編『連濁の研究』国立国語研究所プロジェクト論文選集)開拓社、二〇一七年)などがある。

本体 一四、〇〇〇円(+税)

B5判上製カバー装・四六四頁
二〇二〇年四月刊行
ISBN978-4-585-28048-4 C3081

書名	部数
日本書紀 声点本の研究	
鈴木 豊〔著〕	
ご送付先ご住所(通信欄)	

本体14,000円(+税)

B5判上製・カバー装 464頁
2020年4月刊行
ISBN978-4-585-28048-4 C3081

部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

龍谷大学図書館蔵

くろだにしょうにんごとうろく
げんこうばん

黒谷上人語燈録

元亨版 翻刻および総索引

佐々木勇【主編】

宗祖法然上人の法語・消息をまとめて伝える

浄土宗・浄土真宗における貴重文献

『黒谷上人語燈録』。

完本として最古かつ唯一の伝本である

龍谷大学図書館蔵元亨元年(一三二一)刊本の全編を、
同時代に付された訓点・振り仮名を含め、詳細に翻刻。

さらに語彙索引・漢字索引を具備し、

仏教学のみならず、古代における

日常語・口頭語研究、言語位相論的研究、

漢文訓読史研究等、諸分野の研究に裨益する決定版。

【主編者プロフィール】

佐々木勇 (やまぎ・いさむ)

広島大学大学院・教授。

『平安鎌倉時代における日本漢音の研究』(汲古書院、二〇〇九年)、『徒然草』
第九十二段の「得失」——文献学による古典本文確定の例として——(『國語
國文』87(3)、臨川書店、二〇一八年三月)などがある。

【目次】

カラー口絵
緒言……佐々木勇

【本文篇】

凡例
本文翻刻

【索引篇】

語彙総索引
あ行／か行／さ行／
た行／な行／は行／ま行／や行／ら行／わ行
漢字索引

【研究篇】

日本語史資料としての
龍谷大学図書館蔵『黒谷上人語燈録』……佐々木勇
龍谷大学図書館蔵『黒谷上人語燈録』の
才段勘長音表記……坂水貴司
龍谷大学図書館蔵『黒谷上人語燈録』の
仮名文字遣い……土肥新一郎
後記……佐々木勇



法然上人絵傳 東京国立博物館蔵
(出典=国立博物館所蔵品統合検索システム(https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-1599?locale=ja))

本体 一八、〇〇〇円(+税)
B5判上製カバー装・六四二頁
二〇二〇年四月刊行
ISBN978-4-585-28050-7 C3081

書名	部数
龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引 佐々木勇【主編】	部
本体 18,000円(+税) B5判上製カバー装・642頁 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-28050-7 C3081	
ご送付先ご住所(通信欄)	

国宝

漢書楊雄伝 第五十七

かんじょようゆうでん

本体二五、〇〇〇円(+税)
A3判変形上製・函入特装本・一〇八頁
二〇一九年十二月刊行
ISBN978-4-585-28046-0 C3080

京都国立博物館 [原本所蔵・編]

石塚晴通 北海道大学名誉教授
東洋文庫研究員

上杉智英 京都国立博物館
美術室研究員 [解説]

小助川貞次 富山大学教授

現存最古、唯一の唐代写本を
原寸原色復元。
筆跡・紙質・多色詳密な訓点を再現。

目次

序文
影印
解題

書誌解題：上杉智英

本文・訓点解題：石塚晴通・小助川貞次

本書の特長

- 漢書楊雄伝の現存最古、唯一の唐代写本(京都国立博物館所蔵)の全編を原寸・原色にて影印。
- 高精細デジタル撮影により訓点・筆勢・筆致・紙質形状・美観など文化財の現在の状況を余すところなく再現。
- 上杉智英・石塚晴通・小助川貞次による新知見を含む解題を付し、国宝『漢書楊雄伝』の文化史的位置づけを明らかにした。

*『漢書』とは…

中国の正史、二十四史の一つとされる。一〇〇巻。後漢の文人、班固(三二〜九二)の撰。前漢の高祖より王莽の地皇四年までの二二九年間(紀元前二〇六〜後二三)の史事を紀伝体にて記す断代史。帝紀一二巻・表八巻・志一〇巻・列伝七〇巻より成る。

*「楊雄」とは…

字は子雲。漢の蜀郡(現・四川省)成都の人。前漢時代末期の文人、学者、哲学者。揚雄とも。若い頃から辞賦作りに没頭し、都・長安に登ると官途に就いた。甘泉賦「長揚賦」など優れた辞賦を残し、その後は学者として「太玄経」「法言」「方言」などの著作を世に輩出した。



注文書

書名	部数
国宝 漢書楊雄伝 第五十七 京都国立博物館 [原本所蔵・編] 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 [解説]	本体 35,000円(+税) A3判変形上製・函入特装本・108頁 2019年12月刊行 ISBN978-4-585-28046-0 C3080

通信欄

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版版にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

サハ語文法

統語的派生と言語類型論的特異性

江畑冬生 [著]

日本の真北にあたる東シベリアで話されているチュルク系言語。

長年のフィールド調査による記述研究から、

一見すると複雑なサハ語の形態音韻交替や形態統語法を

言語研究一般へも資する形で整理する。

統語的派生、二重対格使役文、非人称受動文などの

言語類型論的な特異性にも注目。

サハ語の初の記述研究書！

【目次】

はじめに 本書の特色・構成・データと出典

図表一覧

略号一覧

第1章 サハ語の概要

第2章 形態音韻交替

第3章 名詞類の形態統語法の概要

第4章 動詞の形態統語法の概要

第5章 主節述語に付加する接辞と文末接語

第6章 語彙的派生と統語的派生

第7章 名詞類の分類と統語機能

第8章 ボイス接辞による派生と非典型的構文

第9章 目的語の形式選択に関わる要因

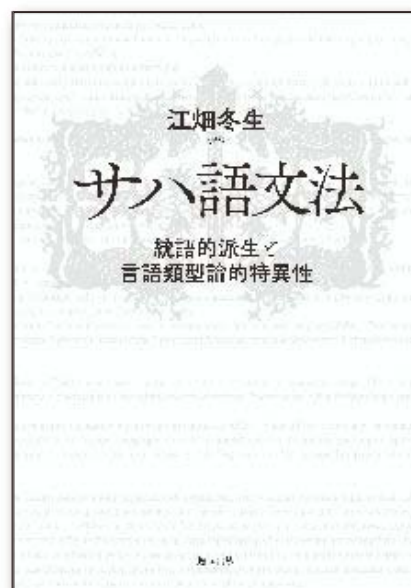
第10章 サハ語の特質

参考文献

あとがき

附録 主な屈折接辞と活用表

用語・言語名索引



【著者プロフィール】

江畑冬生 (えばた・ふゆき)

新潟大学人文学部・准教授。専門は言語学、チュルク諸語研究(特にサハ語およびトゥバ語を現地調査により研究)。2012年に博士論文『サハ語名詞類の研究——接辞法と統語機能を中心に——』を東京大学大学院に提出し、博士号を取得。

主な論文に「サハ語(ヤクート語)の「双数」の解釈——聞き手の数からの分析——」(『言語研究』151号, 63-74.)や「トゥバ語の証拠性を表すとされる接辞-*dir*の機能——話し手・聞き手の認識からの説明——」(『北方言語研究』第9号, 31-39.)がある。

…詳細情報は裏面をご覧ください。

書 名	部 数
サハ語文法 統語的派生と言語類型論的特異性 江畑冬生 [著]	本体9,800円(+税) A5判上製カバー装・264頁 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-28049-1 C3087
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
 千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE: <http://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

ベトナム語 空間ダイクシスと その展開

指示詞から
文末詞・感動詞へ

安達真弓 著

本体11,000円(+税)・本体10,000円

A5判上製カバー装・272頁

2021年5月刊行

ISBN978-4-585-38001-6 C3087

ベトナム語には、話し手から指示対象までの距離に基づいて区別される3系列の指示詞がある。指示詞の基本的な形式は全て、それと同形の文末詞と感動詞のいずれか、あるいはその両方を持つ。

指示詞・文末詞・感動詞という3つのカテゴリー間の形式的な類似は、偶然の産物か。

これらの機能的な共通項は何か。

現代ベトナム語における同形式の指示詞・文末詞・感動詞の比較を通して、言語類型論にも新たな実証的データを提供する。

本書の特色

◎ベトナム語における3系列の指示詞の間の違いを明らかにする。

◎指示詞・文末詞・感動詞という3つのカテゴリーがダイクシス表現(その解釈に言語外の文脈情報を必須とする表現)であるという共通項を持つことに着目し、その多様な機能を体系的に整理する。

著者プロフィール

安達真弓 (あだち・まゆみ)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、助教。

専門はベトナム語の調査研究。

主な論文に“Vietnamese demonstratives *dây, đó, kia*” (2011年、*Mon-Khmer Studies Journal, Special issue 3*: 1-8)や「ベトナム語の遠称指示詞 *kia* と *kial* について」(2012年、『東京大学言語学論集』32号: 1-10)がある。

目次

はじめに

第1章…先行研究の整理と用語の定義

第2章…ベトナム語の指示詞

第3章…ベトナム語指示詞由来の文末詞

第4章…ベトナム語指示詞由来の感動詞

第5章…おわりに

——ベトナム語指示詞から文末詞・感動詞への文法化

引用したデータ

参考文献

付録:自然談話のデータ

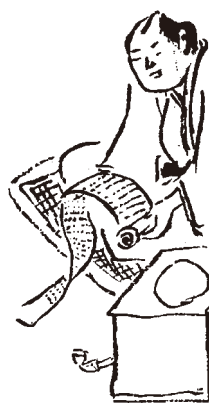
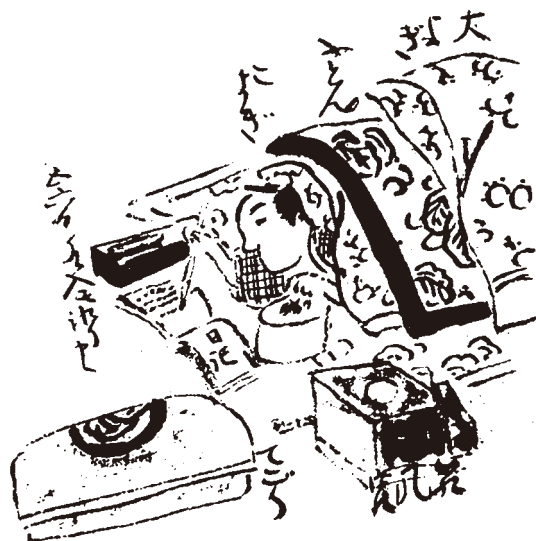
あとがき

書名	部数
ベトナム語空間ダイクシスとその展開 指示詞から文末詞・感動詞へ 安達真弓 著	定価11,000円(税込)・本体10,000円 A5判上製カバー装・272頁 2021年5月刊行 ISBN978-4-585-38001-6 C3087
ご送付先ご住所(通信欄)	

岩淵令治〈編〉

定価 一、〇〇〇円(税込)「本体一〇、〇〇〇円・A5判上製カバー装・五二二頁(十カラー一六頁)・二〇二一年五月刊行・ISBN978-4-585-32000-5 C3021

(いわぶち・れいじ)一九六六年生まれ。学習院女子大学国際文化交流学部教授。専門は日本近世都市史。著書に『江戸武家地の研究(塙書房、二〇〇四年)、『史跡で読む日本の歴史』9(編著、吉川弘文館、二〇一〇年)、『江戸の発見と商品化』(編著、岩田書院、二〇一四年)、論文に『巨大都市江戸における居住者と自己認識』(渡辺浩一/ヴァネッサ・ハーディング編『自己語りと記憶の比較都市史』勉誠出版、二〇一五年)、『江戸における鷹匠の交流』(福田千鶴・武井弘一編『鷹狩の日本史』勉誠出版、二〇二一年)などがある。



新たな江戸像を描き出す貴重史料

天保改革期に白杵藩士・国枝外右馬が、参勤交代で江戸勤番の間に書き残した一年分の日記史料の全編を初めて活字化。一四〇点に及ぶ挿絵とともに紹介する。四十代にして初めて見る江戸の様子や、自分の仕事ぶりを息子たちに伝える生き生きと愛らしい絵入りの詳細な記述は、研究史料として稀有なだけでなく、専門家以外の読者にも江戸の人々を身近に感じさせる興味深い史料である。外からやってきた勤番武士による江戸の報告は、地元の人々が発信するものとは異なる新たな江戸像を示すものとなるだろう。

勤番武士の江戸滞在記

くになだどうまをどずめちゅうにっぎ

江戸滞在記

本書の構成

カラー口絵

序文・凡例

【日記翻刻】

国枝外右馬江戸詰中日記 第一冊

天保十三年四月〜九月朔日迄十四日迄

国枝外右馬江戸詰中日記 第二冊

九月十四日夕々晦日迄天保十四年五月

【解説】

解題―岩淵令治

国枝外右馬とその周辺

放送大学千葉学習センター「古文書を読む会」

挿絵一覧・あとがき



書名	部数
勤番武士の江戸滞在記 国枝外右馬江戸詰中日記 岩淵令治〈編〉	定価 11,000 円(税込)・本体10,000円 A5判上製カバー装・512頁(+カラー口絵16頁) 2021年5月刊行 ISBN978-4-585-32000-5 C3021
ご送付先ご住所(通信欄)	部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

杜甫研究年報

日本杜甫学会「編」

「詩聖」杜甫。

その詩は、それ以前の詩の総括であるとともに、以後の中国詩の出発点でもある。

日本においては、五山の僧の崇敬、芭蕉の傾倒があり、明治以後も、中江兆民・島崎藤村・正岡子規を始め、

知識人・国民の間で、その親愛の念は一貫して揺るがないものだった。漢文教育においても、杜甫の詩は教材の中で重要な位置を占めてきた。

世界における杜甫への関心を見つめつつ、変転する時の中で無窮の未来に向かって杜甫研究を発展させ続ける一冊。

【最新号】

第四号 目次

論文●杜甫詩の真偽——「哭長孫侍御」札記——◎後藤秋正

論文●杜詩における「齒」について◎大橋賢一

論文●杜甫の詩における鷓鴣詠◎高岡遼

論文●杜甫、そして白居易へ——「醒」の快適◎下定雅弘

論文●杜甫詩における双声疊韻の諸相◎丸井 憲

論文●仁甫聖寿抄『続臆断』（慶應義塾大学斯道文庫所蔵）瞥見◎太田 亨

「研究概況及び文献収録」

書評●『李白と杜甫の事典』（大修館書店、二〇一九・一一）◎後藤秋正

日本における杜甫研究集録（二〇一九）◎大橋賢一・加藤聰・紺野達也

日本杜甫学会会則・彙報・編集後記

定価 二、二〇〇円（税込）

〔本体二、〇〇〇円〕

A5判並製・一〇四頁

二〇二一年四月刊行

ISBN978-4-585-39444-0 C3098

注文書

書 名			部 数
杜甫研究年報 第四号			部
日本杜甫学会〔編〕			
定価2,200円(税込)/本体2,000円 A5判並製・104頁／2021年4月刊行 ISBN978-4-585-39444-0 C3098			
第三号 定価2,200円(税込) 本体2,000円 A5判並製・112頁／2020年5月刊行 ISBN978-4-585-29443-6 C3098	第二号 定価2,200円(税込) 本体2,000円 A5判並製・88頁／2019年5月刊行 ISBN978-4-585-29442-9 C3098	創刊号 定価2,200円(税込) 本体2,000円 A5判並製・116頁／2018年4月刊行 ISBN978-4-585-29441-2 C3098	部
シリーズ			部 数
杜甫研究年報 〈定期購読〉 日本杜甫学会〔編〕 毎号・定価2,200円(税込)/本体2,000円 A5判並製・約100頁 2018年以降～毎年春頃、年1回刊行			部
【関連書】 白居易研究年報 全20巻セット 白居易研究会〔編〕 揃定価107,030円(税込)/本体97,300円 各巻A5判並製			部
ご送付先ご住所（通信欄）			

勉誠出版

 ※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
 千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025



週刊読書人

4/9発売号に、

刊行記念記事掲載!

有栖川有栖氏、

佐野史郎氏、

ご寄稿!

稀代の推理小説作家、江戸川乱歩。
死後五十年を経て、未だ我々を魅了し続ける乱歩の創作・思考の背景にあるものはいったい何か。
乱歩の形成した人的ネットワーク、そして彼の生きた戦前戦後という時代と文化事象、
出版文化の展開とともに花開いた様々な雑誌メディアなど、
総勢七十人に及ぶ豪華執筆陣のナビゲートにより
乱歩ワールドの広がりを感じていただける本邦初のエンサイクロペディア、ついに公刊!

大好評
発売中!

江戸川乱歩 大事典

ENCYCLOPEDIA OF
RANPO EDOGAWA

落合教幸＋阪本博志＋
藤井淑禎＋渡辺憲司〈編〉

定価 13,200円(税込)
菊判上製・912頁
2021年3月、
堂々刊行!
ISBN978-4-585-20080-2 C1000

目次

〔第一部〕人間乱歩
〔第二部〕社会
〔第三部〕ミステリー
〔第四部〕メディア
〔付録〕
江戸川乱歩小説作品初出
初刊一覧・年表・索引

書名	部数
江戸川乱歩大事典 落合教幸＋阪本博志＋藤井淑禎＋渡辺憲司〈編〉	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

文化情報学事典

2019年12月刊行!

村上征勝 [監修]

金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・
阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 [編集]

本体 **18,000**円 (+税)

A5 判上製カバー装・850頁
ISBN 978-4-585-20071-0 C3000

文化と情報にかかわる人々必携の一冊!

コンピューターの進歩により、デジタル情報の利用が飛躍的に加速している。
感性や主観が重視されてきた文化の領域でも、
文学・美術・考古・歴史・音楽・芸能をはじめとする
文化資産をデジタル化し、保存・管理や展示を行う技術が進歩し、
またデジタルな分析ツールの発展もめざましい。
文化情報学は個々の領域で独立に行われてきた文化研究という縦の糸を、
データサイエンスという理系の横の糸で編みあげる
文理融合型のアプローチであり、本書はその集大成である。

文化現象を
データサイエンスで
読み解く総合事典

内容構成

A 領域篇

- A-1 文章・文献
- A-2 言語
- A-3 考古・歴史
- A-4 人文地理
- A-5 文化・芸術
- A-6 身体文化・行動計量
- A-7 コンピューター・情報

B データ分析篇

- B-1 データ分析の基礎
- B-2 量的分析法
- B-3 質的分析法

C 分析用ソフト

●付表 統計分布表 ●索引

※内容構成の詳細は裏面参照

本書の特色

- 「文化」と「情報」に関する文理融合型の総合事典
- 理論から具体的な実践例まで収録した“読む”事典
- 300を超える多くの図表・写真でビジュアルも充実
- 総計100名を超える第一線の研究者・専門家が執筆
- 分析ソフトの紹介と日本語／英語索引で検索も充実

【プロフィール】

[監修]

村上征勝 (むらかみ・まさかつ)

統計数理研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、元同志社大学文化情報学部長。工学博士。研究分野は計量文献学、統計学。主な著書に、『シェークスピアは誰ですか?——計量文献学の世界』(文春新書、2004年)、『文化情報学入門』(勉誠出版、2006年)、『計量文献学の射程』(共著、勉誠出版、2016年)などがある。

[編集]

金明哲 (同志社大学教授)

中園聡 (鹿児島国際大学教授)

赤間亮 (立命館大学教授)

宝珍輝尚 (京都工芸繊維大学教授)

渡辺美智子 (慶應義塾大学教授)

小木曾智信 (国立国語研究所教授)

矢野桂司 (立命館大学教授)

阪田真己子 (同志社大学教授)

芳沢光雄 (桜美林大学教授)

足立浩平 (大阪大学教授)

書名	部数
文化情報学事典 村上征勝 [監修] 金明哲・小木曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・ 阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 [編集]	本体 18,000円 (+税) A5判上製カバー装・850頁 ISBN 978-4-585-20071-0 C3000 2019年12月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

項目一覧 *項目数…127項目

A 領域篇

[A1 文章・文献]

文学・文献の計量分析／計量文献学／計量文体論／平安朝物語の計量分析／西鶴退稿集の著者問題／『今昔物語集』の文体／中古和文における個人文体とジャンル文体／現代日本語の計量文体論／現代文におけるジャンル別の文体的特徴／論述文の文体的特徴／個人の文体変化／文体模倣の計量分析／川端康成の代筆疑惑／社会学におけるテキスト分析／ツイッターにおけるテキストの計量分析／SNSにおける計量テキスト分析／法科学分野の文章の計量分析

[A2 言語]

言語／コーパス言語学／書き言葉コーパス／話し言葉コーパス／学習者コーパス／形態素解析／構文解析／シソーラス／文字コード／方言地図とGIS／社会言語学調査／音声処理／言語系統論／機械翻訳

[A3 考古・歴史]

デジタル化時代の考古学・歴史学／考古遺物の数量分類／考古資料のデジタル記録／考古学における年代測定法・同位体分析／元素分析による土器の産地推定／地磁気による考古学的調査／地中レーダーによる遺跡探査／考古学におけるGIS／水中考古学とデジタル技術の利用／自然人類学と歴史研究／災害考古学／全国遺跡報告総覧／古文書に対する文字認識技術／情報考古学／民具資料のデジタルアーカイブ化

[A4 人文地理]

学／計量地理学／地理情報システム／地理空間情報／地理情報科学／歴史GIS／地理人文学／ジオ・ビッグデータ（空間ビッグデータ）／景観分析／記憶地図／空間人文学と文学／デジタル地域学

[A5 文化・芸術]

文化・芸術と文化情報学／絵画／工芸品／服飾文化／無形文化のデジタルアーカイブ／映像・ゲーム・映像アーカイブ／出版文化・書物学／書物学（近代）／電子出版／音楽・音響／美術品・考古資料の3次元計測

[A6 身体文化・行動計量]

身体文化・行動計量／演劇／ダンス／演奏／お笑い／身体性認知／赤ちゃん学／スポーツバイオメカニクス／他者性／共同作業／アフオーダンス／身体性メディア技術／インタラクション

[A7 コンピューター・情報]

コンピューターと文化情報学／ビッグデータ／ソーシャルネットワーク／機械学習／深層学習／音声認識／デジタルミュージアム／情報倫理

B データ分析篇

[B1 データ分析の基礎]

文化情報学の源一数の発見とコンピューター／データの分類法／データの要約一度数分布表・グラフ・統計量／データに基づく推論／推定と検定／多変量解析

[B2 量的分析法]

量的変数と分析手法／量的データからの統計的推測／重回帰分析／新指標作成のための主成分分析／主成分分析の探索的活用／探索的因子分析／因果構造と検証的因子分析／分類と次元縮約のためのクラスター分析・多次元尺度法／テキストマイニングと可視化／潜在トピック分析／イメージマイニングと人工知能／空間統計学／データの欠測値処理

[B3 質的分析法]

質的分析法／離散変数の分布／比率の推定と検定／適合度検定／分割表の解析／対数線形モデル／ロジスティック回帰分析／潜在クラス分析／数量化Ⅰ類・Ⅱ類／数量化Ⅲ類／対応分析／項目反応理論／文化系統学／計量的文明論一林の数量化Ⅲ類の活用

C 分析用ソフト篇

データ解析ソフト／計量テキスト分析のための自由（フリー）ソフトウェアKH Coder／テキスト分析ツールRMeCab／多言語テキスト統計分析ツールMTMineR

●付表 統計分布表●索引

本文組見本

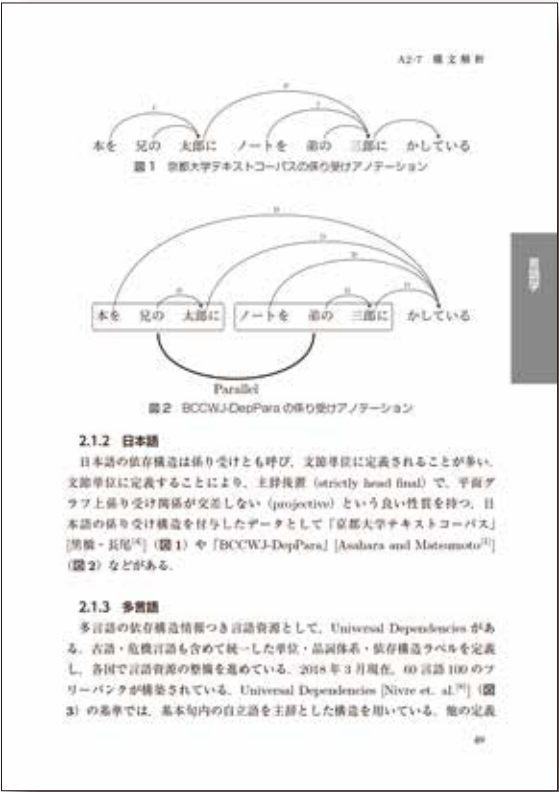


図1: 日本語の文構造

2.1.2 日本語
日本語の依存構造は係り受けとも呼び、文節単位に定義されることが多い。文節単位に定義することにより、主幹位置 (strictly head final) で、平面グラフ上係り受け関係が交差しない (projective) という良い性質を持つ。日本語の係り受け構造を付与したデータとして「京都大学テキストコーパス」[岡橋・長尾^[4]] (図1) や「BCCWJ-DepPara」[Asahara and Matsumoto^[5]] (図2) などがある。

2.1.3 多言語

多言語の依存構造情報として、Universal Dependencies⁴がある。古語・危機言語も含めて統一した単位・品詞体系・依存構造ラベルを定義し、各国で言語資源の整備を進めている。2018年3月現在、60言語100のツリーバンクが構築されている。Universal Dependencies [Nivre et. al.^[6]] (図3) の基準では、基本句内の自立語を主幹とした構造を用いている。他の定義

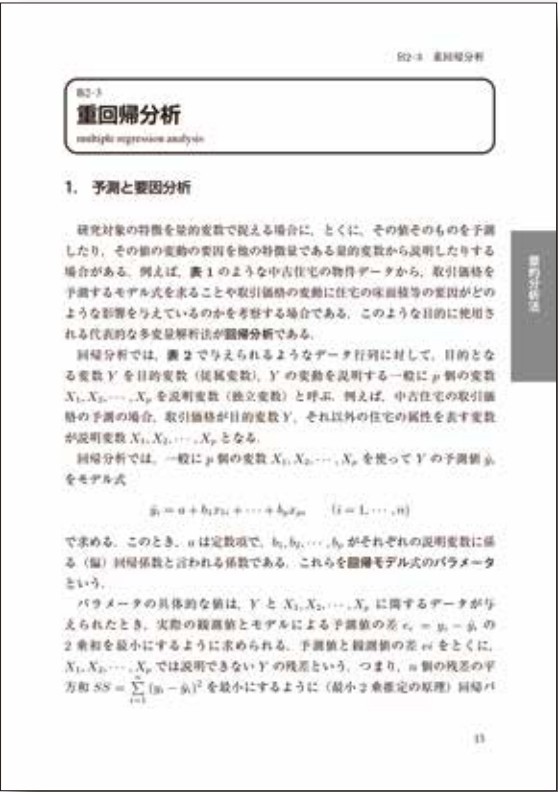


図2: 重回帰分析

重回帰分析
multiple regression analysis

1. 予測と要因分析

研究対象の特徴を量的変数で捉える場合には、とくに、その値そのものを予測したり、その値の変動の要因を他の特徴量である量的変数から説明したりする場合がある。例えば、図1のような中古住宅の物件データから、取引価格を予測するモデルを求めることや取引価格の変動に住宅の床面積等の要因がどのような影響を与えているかを考察する場合である。このような目的に使用される代表的な多変量解析法が重回帰分析である。

重回帰分析では、図2で与えられるようなデータ行列に対して、目的となる変数 Y を目的変数 (従属変数)、 Y の変動を説明する一般に p 個の変数 $X_1, X_2, \dots, X_p$ を説明変数 (独立変数) と呼ぶ。例えば、中古住宅の取引価格の予測の場合、取引価格が目的変数 Y 、それ以外の住宅の属性を表す変数が説明変数 $X_1, X_2, \dots, X_p$ となる。

重回帰分析では、一般に p 個の変数 $X_1, X_2, \dots, X_p$ を使って Y の予測値 $\hat{y}_i$ をモデル式

$$\hat{y}_i = \beta_0 + \beta_1 x_{i1} + \dots + \beta_p x_{ip} \quad (i = 1, \dots, n)$$

で求める。このとき、 n は定数項、 $\beta_0, \beta_1, \dots, \beta_p$ がそれぞれの説明変数に属する (偏) 回帰係数と呼ばれる係数である。これらを重回帰モデルのパラメータという。

パラメータの具体的な値は、 Y と $X_1, X_2, \dots, X_p$ に関するデータが与えられたとき、実際の観測値とモデルによる予測値の差 $e_i = y_i - \hat{y}_i$ の2乗和を最小にするように求められる。予測値と観測値の差 e_i をとくに、 $X_1, X_2, \dots, X_p$ では説明できない Y の残差という。つまり、 n 個の残差の平方和 $SS = \sum_{i=1}^n (y_i - \hat{y}_i)^2$ を最小にするように (最小二乗法) 重回帰

日本古文書学会〈編〉

古文書への招待

過去の人びとのいとなみを読み取る

長屋王家符、北条政子書状、足利義教自筆御内書、
豊臣秀吉朱印状、薩長同盟覚書裏書……

過去の人びとが書き残した「古文書」にはいったい何が書かれているのか？
古代から近代にわたる全四十五点の古文書を丹念に読み解くことで、
古文書のもつ意味、それを記述した人びとの個性、
書かれた背景をなす歴史的事件を明らかにする。

また、文章の内容のみならず、文字の書かれ方、料紙、大きさなど、
「モノ」としての古文書にも焦点を当て、その魅力に迫る。

カラー図版をふんだんに配し、

全点に翻刻・現代語訳・詳細な解説を付した

恰好の古文書入門！

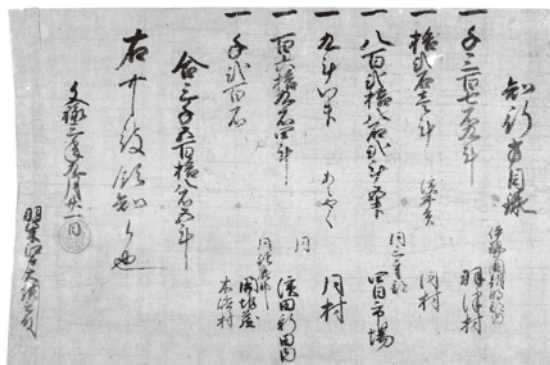
収録

〈1〉かたち

長屋王家符
他田日奉部直神護解
太政官符
源頼朝寄進状
伊賀国黒田莊悪党人縁者父名
武雄社大宮司都々亀丸代藤原道厚軍忠状
足利義満書状案
足利義教自筆御内書
東寺款状
羽柴秀吉制札
徳川家康起請文
豊臣秀吉朱印状
開帳差免帳
交代寄合山名義蕃書置
源頼朝書状
北条政子書状
東大寺大勧進重源自筆書状
高麗渤海関係朱書状
藤原為家讓状
足利尊氏御判御教書
沙弥惠尊(小田孝朝)書状
足利義維御内書
武田信玄自筆願文
織田信長印判状
豊臣秀吉知行方目録
三井八郎右衛門宛寺井庄右衛門起請文
薩長同盟覚書裏書(坂本龍馬筆)

〈2〉ひと

太政官符序
源実朝袖判下文
右馬允康経書状
某書状案断簡
護良親王令旨
大蔵大輔某奉書
足利尊氏御判御教書
征西將軍宮令旨
今川了俊書下
栖雲斎威阿書状
白川義親書状
丹羽長秀書状
毛利輝元起請文案
黒田如水(孝高)書状
五箇条の御誓文



豊臣秀吉知行方目録

関地蔵院所蔵

[画像提供・亀山市歴史博物館]

書名

古文書への招待

日本古文書学会 [編]

部数

本体3,000円(+税)

B5判並製カバー装・176頁
2021年1月刊行
ISBN978-4-585-22277-4 C1021

部

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版

千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人

編

日本の表装と修理

装い、繕い、伝える――

絵画や書、古文書など、紙や絹を用いた文化財は、表装によって、より美しく、より長くその存在を守られ続ける。

これらの歴史的遺産を修理・保存し、伝えていくことは、込められた人々の思い・願いをも共有していく営みである。

表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに行われてきたもののなか。

文化財の修理・保存の第一線にあり、その困難な作業の中で、

技術者たちはどのような試行錯誤を重ねてきたのか。残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、

表装と修理にまつわる文化史を描き出し、今日の我々にとっての

文化財保護の意義と意味を照射する。

【編者プロフィール】

岩崎奈緒子（いわさき・なおこ）
京都大学総合博物館教授。専門は日本近世史。

中野慎之（なかの・のりゆき）
文化庁文化財第一課文部科学技官（絵画部門）。専門は美術史。

森道彦（もり・みちひこ）
京都国立博物館研究員（中世絵画）。専門は中近世絵画。

横内裕人（よこうち・ひろと）
京都府立大学教授。専門は日本中世史。

【むく】

口絵
はじめに

参考 文化財の構造と名称

第一部 現代の装演・文化財修理

装演師の声を聞く

――技術者から見た装演文化財修理の進化◆岩崎奈緒子
表具師から装演師へ◆岡興造
古文書修理の歴史と理念◆湯山賢一

第二部 表装の文化史

日本中世の仏画の表装◆谷口耕生

「東山表具」の成立をめぐる小考◆板倉聖哲
江戸宗玩による表具の記録と制作◆門脇むつみ

表装が伝えるもの――後水尾院縁の掛軸を事例として◆高田智仁

近代日本における中国書画蒐集と表装◆竹浪遠
近代日本画の材料と表装◆中野慎之

第三部 修理の文化史

平安時代の仏画制作とその修理◆増記隆介

前近代における書跡・古文書修理の諸相
――現状維持の理念をめぐって◆横内裕人

護持院隆光の寺社修理――元禄期の奈良を中心に◆古川攝一
近世における障壁画の保存と継承◆森道彦

近世ヨーロッパ美術と修復
――芸術作品の受容史の視点から◆平川佳世

あとがき
執筆者一覧



裱人物肖像
絹本着色江戸時代（十九世紀）
（京都府蔵（京都文化博物館管理））

本体 7,000 円(+税)

A5判上製・カラー口絵 8 頁+424 頁
ISBN 978-4-585-20073-4 C1000
2020 年 3 月刊行

書 名	部 数
日本の表装と修理 岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 [編]	本体 7,000 円(+税) A5判上製・カラー口絵 8 頁+424 頁 ISBN 978-4-585-20073-4 C1000 2020 年 3 月刊行
ご送付先ご住所（通信欄）	

日本古文書学会編集

古文書研究

第90号

2020年12月

本体 3,800 円(+税)
B5判並製・160頁
ISBN978-4-585-22417-4 C3321
2020年12月刊行

歴史学をはじめ、諸分野における研究の基盤をなす古文書学。
その最前線を伝える学術雑誌。年2回刊行。

目次

カラー口絵

小特集「古文書学の新展開」

まえがき 渋谷綾子
日本における古文書料紙の変遷 湯山賢一
デジタル機器を利用した楮繊維の分析 高島晶彦
カジノキのDNAはオーストロネシア人の移住と和紙の起源の物語をどのように語っているのか？
..... 鍾國芳・張瓊之・謝佳・國府方吾郎
カジノキの遺伝的多様性は古文書の由来を解き明かせるか 石川隆二

『凶徒御退治御告文』に見る足利義満の神祇祈禱 桐田貴史
中世東寺文書における「評定引付」とその断簡等の復元 古田功治
松前城下における將軍印判状の高札揭示と幕藩関係——蝦夷地第一次上知直前まで—— 上田哲司
石田実洋氏を悼む 高橋典幸
古文書めぐり 香川大学附属図書館「神原文庫」と所蔵史料について 守田逸人
随筆 北野天満宮所蔵の久我家文書記録 藤井讓治
研究余滴 治承・寿永内乱と佐竹氏 高橋典幸
書評と紹介 倉本一宏編『日記・古記録の世界』 井上政望
書評と紹介 樋口健太郎著『中世王権の形成と撰関家』 海上貴彦
書評と紹介 松蘭斎著『中世禁裏女房の研究』 神田裕理
書評と紹介 菌部寿樹著『日本中世村落文書の研究 村落定書と署判』 高橋 傑
令和二年度新指定文化財紹介
彙報
口絵解説 山門結界裁許裏書絵図 一鋪／江戸幕府評定所裁許状 一通 地主智彦
英文レジュメ

書 名	部 数
古文書研究 第90号 日本古文書学会 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

中近世移行期の文化と古活字版

高木浩明 [著]

人々を魅了した新たなメディア

十六世紀末、従来出版活動を行っていた寺院はもとより、天皇や将軍そして新興の豪商などをも魅了した、日本書物史における新たなメディアが誕生した。

——古活字版である。

これらは、どのような環境において、いかなる人的ネットワークのもとで刊行され、どのように享受されたのか。古典の代表作として広く享受され、多数の現存伝本を持つ下村本『平家物語』、史上稀なる豪華活字版本として製作された『嵯峨本』、そして、古活字版製作をめぐる場と人びとに着目し、長年にわたる古活字版の悉皆調査を行ってきた知見をもとに日本出版史における古活字版の時代を炙り出す。

嵯峨本諸本、『平家物語』下村本諸本の現存伝本目録を収載。

【著者プロフィール】

高木浩明 (たかぎ ひろあき)

清風高等学校・近畿大学文学部非常勤講師。専門は日本中世文学、書誌学。古活字版の悉皆調査により、第3回「岩瀬弥助記念書物文化賞」を受賞。著書、論文に「古活字版悉皆調査目録稿」(二)〜(九)(鈴木俊幸編『書籍文化史』第十一〜十九集、二〇〇〜一八年)、「大東急記念文庫蔵古活字版悉皆調査目録稿」(『調査研究報告』第四十号、国文学研究資料館、二〇二〇年)などがある。

図版点数
約200点!

【目次】

はじめに

第一部 下村本『平家物語』とその周辺

第一章 下村本『平家物語』と製作環境をめぐる

第二章 下村本『平家物語』書誌解題稿

第三章 『平家物語』十行平仮名古活字本は

下村本の底本たり得るか

第四章 下村本『平家物語』とその周辺

——國學院大學図書館蔵本から考えられること

第五章 『平家物語』古活字版一本についての覚書

第六章 古活字版『源平盛衰記』の諸版について

第二部『嵯峨本』の世界

第一章 『嵯峨本』再見——現存伝本調査報告

第二章 嵯峨本『伊勢物語』書誌考証

第二章付録 嵯峨本『伊勢物語』(慶長十三年初刊本)

部分異植字一覧

第三章 古活字版『伊勢物語』書誌解題稿

第四章 嵯峨本『方丈記』書誌考証

第五章 嵯峨本『撰集抄』書誌考証

第三部 古活字版をめぐる場と人々

第一章 『百人一首抄』(幽斎抄)成立前夜

——中院通勝の果たした役割

第二章 『徒然草寿命院抄』成立前夜

——中院通勝真筆本『つれく私抄』の紹介を兼ねて

第三章 古活字版『徒然草寿命院抄』書誌解題稿

第四章 角倉素庵と学問的環境

第五章 古活字版を必要とした人々

第六章 古活字版『大和物語』の刊行年時を考える

第七章 古活字版『後漢書』の刊行年時を考える

第八章 本文は刊行者によって作られる

第九章 要法寺という場について考える

第十章 二兵衛とその出版活動をめぐる覚書

おわりに／初出一覧／図版一覧／索引

本体15,000円(+税)

A5 判上製カバー装・880 頁
ISBN 978-4-585-20077-2・C3000
2020 年 11 月刊行

書 名	部 数
中近世移行期の文化と古活字版	
高木浩明 [著]	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

本体15,000円(+税)

A5 判上製カバー装・880 頁
ISBN 978-4-585-20077-2・C3000
2020 年 11 月刊行

部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

和漢朗詠集とその享受 増訂版

三木雅博〈著〉

本体 一五、〇〇〇円(+税)
A5判上製カバー装・四八〇頁
二〇二〇年十二月刊行
ISBN978-4-585-29202-9 C3091

*『和漢朗詠集とその享受』
(勉誠出版、一九九五年)の
増補改訂です。

【目次】

まえがき

序文 伊藤正義

増訂版の刊行にあたって

序 『和漢朗詠集』研究史の沿革と本書

第一篇…『和漢朗詠集』の構成

一 『和漢朗詠集』全般の構成

―『古今集』をはじめとする勅撰和歌集との関において―

二 『和漢朗詠集』上巻四季部の構成―先行詞華集との関連において―

三 『和漢朗詠集』下巻雑部の構成―先行詞華集との関連において―

四 『和漢朗詠集』八月十五夜・月部の構成―都の月・他郷の月―

五 『和漢朗詠集』の部立「白」に関する考察

―『朗詠集』の構成と周辺の資料から―

六 『和漢朗詠集』帝王・親王・丞相部の所収和歌をめぐって

―『古今集』序、同序古注(公任注)とのかかわりを視野において―

第二篇…『和漢朗詠集』の本文

一 『和漢朗詠集』の享受と諸写本の本文形態の相違

二 『和漢朗詠集』古写本における佳句本文の改変をめぐって

三 『和漢朗詠集』古写本における和歌本文の異同と部立の配列

―春部末の「藤」「躑躅」「款冬」の部立を中心に―

四 『和漢朗詠集』博士家写本の解説

―学的情報としての注記の「読み取り」―

第三篇…『和漢朗詠集』の享受と古注釈

一 院政期における和漢朗詠集注釈の展開

―『朗詠江注』から『和漢朗詠集私注』へ―

二 『和漢朗詠集私注』の方法

―『和漢朗詠集私注』の変貌―平安末期から

室町期にかけての『和漢朗詠集』写本の動向と関連して―

鎌倉前期における和漢朗詠集注釈の展開

―『和漢朗詠集私注』から『和漢朗詠集永清注』『和漢朗詠註抄』へ―

五 朗詠注における説話

附篇

一 『千載佳句』の部門の構成に関する考察

―冒頭の四時部を対象として―

二 『和漢朗詠集』所引唐人賦句雑考―出処と享受の問題を中心に―

索引(事項・書名・人名・題目・詩句・和歌)

日本にもたらされた中国の漢詩文、それを承けて平安朝の文人たちがつくりあげた日本の漢詩文、一方で万葉以来展開してきた和歌、これらが享受されていく歴史の交差点に成立したのが『和漢朗詠集』である。本書は『和漢朗詠集』の成立と享受を論じることにより、和の世界が有していた流れと漢の世界からもたらされた流れが交錯し、新しい流れが生み出されていく我が国の文化の創造の過程で現れた、一つの典型的な現象を明らかにしていく。増補・改訂により待望の復刊。

【著者プロフィール】

三木雅博 (みき・まさひろ)

一九五四年和歌山県生まれ。大阪市立大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。梅花女子大学文化表現学部日本文化学科教授。博士(文学)。専門は日中比較文学、平安朝文学。

著書に『平安詩歌の展開と中国文学』(和泉書院、一九九九年)、『平安朝漢文学鈎沈』(和泉書院、二〇一七年)、角川ソフィア文庫『和漢朗詠集現代語訳付き』(株式会社KADOKAWA、二〇一三年)など。

書名	部数
和漢朗詠集とその享受 増訂版 三木雅博〈著〉	本体 15,000円(+税) A5判上製カバー装・480頁 2020年12月刊行 ISBN978-4-585-29202-9 C3091
ご送付先ご住所(通信欄)	

玉城司・小幡伍〔編著〕

真田幸弘 点取百韻 翻刻と解題

さなだゆきひろてんとりひやくいんほんてんとかいだい

江戸時代語の宝庫、 大名の点取俳諧を翻刻した資料集

真田宝物館(長野市松代町)が収蔵する松代藩第六代藩主・真田幸弘(菊貫)が同座した点取俳諧資料集『菊の分根』の百韻・五十八巻を原本に忠実に翻刻。詳細な解題・解説を附す。

武家と庶民の身分を越えた交流の様相を知ることができ、また、「猪牙」(吉原通いの舟)、「素破」(忍者)、「女商・数間」(仲介業者)、「温石」(カイロ)、「列卒」(狩り場の人夫)など、(日葡辞書)にも採られる江戸時代語を多数含む。

俳諧研究のみならず、国語学や、地方と中央を結ぶ歴史学、俳句に詠みこまれた風俗研究等の発展に大きく寄与する一書。

〈本書の特色〉

●真田幸弘の点取百韻『菊の分根』は、連衆が大名と家臣等の武家、批点する宗匠は庶民であり、身分を越えた交流が俳諧の座でなされた様相を具体的に知ることができる。

●武家自らが興じた百韻の言葉から、大名等の思想や嗜好をうかがい知ることができる。

●細川重賢の俳諧資料集『俳諧集』(出水叢書 汲古書院)との比較も可能になり、より多角的な視点から近世俳諧を考察するための基礎資料となる。

〈もくじ〉

カラー口絵
凡例

翻刻

第1冊(宝暦十三年九月二十九日、明和元年八月二十四日) 植た手の／瀧守の／居酒屋に／四季の内に／四季のうちに／蝶は夢／梅一木／梅一木／青柳は／色こそ／青簾／笠とるや／手拭に／笠取るや／鶏頭は

第2冊(明和元年十月十三日、明和二年八月) 初冬や／鳥とは／百年の／初雪や／降れ霞／あれ聞けと／砂書を／穴の明く／うくるすの／咲ふかと／暮惜しむ

第3冊(明和九年七月二十二日、安永元年十一月十六日) 誰か為そ／初秋や／根を分ける／残る蚊を／蟹は子に／放したる／草の戸や／振さくる／柿に六ツ／十六夜も／むかし聞け／されはこそ／磯くさき／しみ／と／横乗の

第4冊(安永元年十二月三日、安永二年二月二十日) 口切や／息才を／水仙の／いや応は／一片の／口切や／水仙は／水仙の／一ツ宛／四季のうちに／思わすも／水にすむ／若菜野や／方円の／水に住む／方円の

解題・解説

解題(全体)
解題(冊子ごと)
解説

付表明和・安永初期「菊の分根」一覧
あとがき

〈編著者プロフィール〉

玉城司(たまき・つかさ)

上田女子短期大学特任教授。専門は近世俳諧史。主な著書に、『蕪村句集』(角川ソフィア文庫、二〇一一年)、『茶句集』(同、二〇一三年)、共編著に、『元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇』(新典社、二〇一二年)などがある。

小幡伍(おばた・あつむ)

信州大学教育学部卒業。専門は英語教育。主な著書に、『松代歴史散策』(鬼灯書籍、二〇〇九年)、『続・松代歴史散策』(龍鳳書房、二〇一七年)、共編著に、『松代見て歩き』(真田宝物館、二〇〇二年)、『真田宝物館への招待』(同、二〇〇三年)、『松代城ものがたり』(同、二〇〇四年)などがある。

本体 九、〇〇〇円(+税)

A5判上製カバー装

カラー口絵四頁+本文三〇四頁
二〇二一年二月刊行

ISBN978-4-585-29204-3 C3095

書名	部数	部
真田幸弘点取百韻 翻刻と解題	本体 9,000円(+税) A5判上製カバー装 カラー口絵4頁+本文304頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-29204-3 C3095	
玉城 司・小幡 伍〔編著〕		
ご送付先ご住所(通信欄)		

真下 厚・遠藤耕太郎・波照間永吉

編 「アジア遊学254」

東アジアの歌と文字

声から文字へ、文字から声への往還

声の歌が文字化されたのはいつからだろうか。
また、文字との出会いによって声の歌はどう変化したのだろうか。
日本古代の『古事記』や『万葉集』、近世琉球の『おもろさうし』、中国少数民族の歌垣など、東アジアの様々な時代・地域・民族において創作されてきた歌表現の文字資料・音楽資料、文学・民俗学・文化人類学の分野から検討し、声と文字との共存・影響関係、豊かな歌文化の諸相を明らかにする。

目次

【序言】東アジアにおける歌と文字の出会い ●真下 厚

【総論】中国辺境民族の歌と文字のかかわり ●遠藤耕太郎

【総論】琉球歌謡の文字との出会い
——『おもろさうし』の記載法を中心に ●波照間永吉

I 日本古代における歌と文字

歌における声と文字の出会いと共存 ●岡部隆志

古代の歌の命

——ある手法の変貌について ●エルマコワ・リュドミラ

II 琉球王国・沖縄における歌と文字

琉球王国・沖縄における歌と文字 ——おもろさうし ●照屋 理

琉歌と南琉球の抒情歌の文字記録 ●波照間永吉

南島歌謡の記録と伝承の諸相 ——竹富島の巻唄をめくって ●狩俣恵一

III 中国少数民族における歌と文字

壮族の掛け合いにおける声と文字 ●手塚恵子

ペー祭文における声と文字の往還 ●遠藤耕太郎

中国湘西苗族の歌と文字 ●真下 厚

IV 資料紹介

宮古の古謡と神歌 ●本永 清

ペー族の祭文 ●遠藤耕太郎

必定財前途
一路布教心
也布即檢抄
記肝靴往住
仙怪古小妹
嘉吟礼祝佐
男女可分沙
男伝詳是郎
山伯吐双泡
判故花凍淪
鶴門也添朱
登一路蓋花
別送橋床靴
香落山亭了
錦獎坊途鶴

【編者紹介】

真下 厚（ましも・あつし）

元立命館大学教授。専門は日本古代文学・民俗学。

主な著書に『歌を掛け合う人々 東アジアの歌文化』（共著、三弥井書店、二〇一七年）などがある。

遠藤耕太郎（えんどう・こうたろう）

共立女子大学文芸学部教授。

専門は日本古代文学と中国少数民族文化。

主な著書に『万葉集の起源—東アジアに息づく抒情の系譜—（中公新書、二〇一〇年）などがある。

波照間永吉（はてるま・えいきち）

名桜大学大学院国際地域文化研究科（後期博士課程）。

専門は歌謡呪。

主な編著書に『定本 おもろさうし』（外間守善と共編著、角川書店、二〇一二年）、などがある。



本体 2,800 円(+税)

A5判並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-32500-0 C1390
2021年2月刊行

書 名	部 数
東アジアの歌と音楽 【アジア遊学No.243】 真下 厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 [編]	本体 2,800 円(+税) A5判並製カバー装・208頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-32500-0 C1390
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版 在庫僅少本一覧

商品番号	書名	編著者名	ISBN	刊行年月	定価 (税込)	割引価格	冊数
※ISBNは978-4-585を省略しています。							
001	西來寺藏仮名書き法華經 卷第一・第二翻刻	萩原義雄 編	00141-7	1994/4	2,420	1,936	
008	チェスター・ビーティー・ライブラリ絵巻絵本解題目録 図録篇・解題篇 全2冊	国文学研究資料館・The Chester Beatty Library 共編	00313-7	2002/3	51,700	41,360	
010	連歌貴重文献集成 別巻三 下	湯之上早苗 解説	00556-8	1983/10	13,200	10,560	
011	改訂版 古點本の國語學的研究	中田祝夫 編	00690-9	1979/11	38,500	30,800	品切
012	足利本仮名書き法華經 影印篇	中田祝夫 編	00693-0	1976	17,600	14,080	
016	明恵上人手訂定稿本 光明真言土沙勸信記—付・如来遺跡講式	高弁 著／大東急記念文庫 編／川瀬一馬 監修	00770-8	1985/7	44,000	35,200	
017	神田本白氏文集の研究	太田次男・小林芳規 著	00776-0	1982/2	47,300	37,840	
018	狂言記の研究	北原保雄・大倉浩 著	00780-7	1983/2	49,500	39,600	
019	続狂言記の研究	北原保雄・大倉浩 著	00781-4	1985/2	41,800	33,440	
020	尊経閣蔵三卷本 色葉字類抄	前田育徳会尊経閣文庫 編	00782-1	1984	77,000	61,600	
021	江談證注	川口久雄・奈良正一 著	00783-8	1984/10	47,300	37,840	
024	唐音の研究	湯沢質幸 著	00791-3	1987/2	14,300	11,440	
025	音図及手習詞歌考	大矢透 編	00794-4	1969	3,850	3,080	
026	古本節用集の研究	上田萬年・橋本進吉 著	00795-1	1968	3,850	3,080	
027	原本三河物語	大久保忠教 著／中田祝夫 編	00798-2	1970	11,000	8,800	
028	パリ本日葡辞書	石塚晴通 解題	00800-2	1976/11	22,000	17,600	
029	平家物語考	山田孝雄 著	00801-9	1968	4,400	3,520	
030	図書寮本類聚名義抄	築島裕 解説	00802-6	1976/11	17,600	14,080	
031	疑問仮名遣 前編・後編	国語調査委員会(文部省内) 編	00804-0	1972/10	14,850	11,880	
032	日葡辞書	亀井孝 解題	00806-4	1975	19,800	15,840	
033	日仏辞書	Leon Pages 著／福島邦道 解題	00807-1	1974	15,400	12,320	
034	国語学書目解題	赤堀又次郎 編	00811-8	1976/9	6,600	5,280	
035	廣日本文典・同別記	大槻文彦 著	00812-5	1980/4	6,600	5,280	
036	口語法・同別記	国語調査委員会 編／福島邦道 解説	00813-2	1980/5	7,150	5,720	
037	名語記	田山方南 校閲／北野克 写	00816-3	1983/1	35,200	28,160	
038	四国霊場記集	雲石堂寂本 著／近藤喜博 解説	00826-2	1973	11,000	8,800	
039	真名本 曾我物語	伊東祐淳氏 所蔵／山岸徳平・中田祝夫 解題	00828-6	1974	27,500	22,000	
040	古今和歌集正義	香川景樹 著／瀧澤貞夫 解説	00832-3	1971/2	11,000	8,800	
044	御物本 更級日記	菅原孝標女 著／今井卓爾 編	01010-4	1990/3	1,602	1,281	
046	平安朝文学と漢文世界	渡辺秀夫 著	03001-0	1991/1	16,500	13,200	
049	西鶴大矢数注釈 索引	小川武彦 編	03010-2	1992/3	6,408	5,126	
051	本朝麗藻簡注	川口久雄・本朝麗藻を読む会 編	03017-1	1993/7	21,359	17,087	
052	諸本集成仲文章注解	幼学の会 編	03019-5	1993/10	16,019	12,815	
057	略縁起集成 第一巻	中野猛 編	03032-4	1995/2	20,900	16,720	
061	現代日本語・韓国語の格助詞の比較研究	朴在權 著	03049-2	1997/6	13,200	10,560	
064	古代日本研究文献総合目録筆者別目録—明治元年～平成十年三月	平田耿二 編	03060-7	1998/12	41,800	33,440	
067	略縁起 資料と研究3	石橋義秀・菊池政和・橋本章彦 編	03071-3	2000/1	7,700	6,160	
068	改編 匠材集	小林祥次郎 編	03075-1	2001/2	5,500	4,400	
071	枕草子 表現の方法	鄭順粉 著	03084-3	2002/4	10,780	8,624	
073	日本漢学研究初探	楊儒賓・張寶三 共編	03092-8	2002/10	10,560	8,448	
074	西鶴連句注釈	前田金五郎 著	03095-9	2003/11	31,350	25,080	
075	清原宣賢講「日本書紀抄」本文と研究	小林千草 著	03098-0	2003/3	11,000	8,800	
079	トルコ語の母音調和に関する実験音声学的研究	福盛貴弘 著	03109-3	2004/4	11,000	8,800	
081	源氏物語の話声と表現世界	陣野英則 著	03123-9	2004/10	13,200	10,560	
083	命令・依頼の表現 日本語・中国語の対照研究	王志英 著	03130-7	2005/3	7,700	6,160	
084	図書寮本類聚名義抄	築島裕 解説／橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二 索引	03139-0	2005/5	22,000	17,600	
085	悉曇章の研究	馬淵和夫 著	03145-1	2006/2	17,600	14,080	
091	平安中期私家集論—歌人・伝本・表現	福田智子 著	03159-8	2007/2	10,230	8,184	

128	日本のことば遊び	小林祥次郎 著	05303-3	2004/7	3,300	2,640	
162	漢籍伝来—白楽天の詩歌と日本	静永健 著	05445-0	2009/12	3,080	2,464	
165	歌語り・歌物語事典	雨海博洋・神作光一・中田武司 編	06004-8	1997/2	16,500	13,200	
171	枕草子大事典	枕草子研究会 編	06017-8	2001/4	27,500	22,000	
172	菅原道真事典	神社と神道研究会 編	06044-4	2004/12	10,780	8,624	
173	日中韓同字異義小辞典	佐藤貢悦・嚴錫仁 著	06064-2	2010/6	4,950	3,960	
174	梵文法華経萩原・土田本総索引	伊藤瑞叡・村上征勝・塚田貴康・五十嵐信彦 編	08002-2	1993/11	19,800	15,840	
175	歌物語(伊勢物語・平中物語・大和物語)総合語彙索引	木村雅則・西端幸雄 編	08003-9	1994/11	13,350	10,680	
176	源氏物語 語彙用例総索引 自立語篇	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・樺島忠夫・上田裕一 編	08004-6	1994	157,300	125,840	
179	源氏物語 語彙用例総索引 付属語篇	上田英代・村上征勝・今西祐一郎・樺島忠夫・上田裕一・藤田真理 編	10003-4	1996/2	140,800	112,640	
180	日本漢字音史論考	湯沢賢幸 著	10007-2	1996/2	10,467	8,373	
184	社寺縁起の研究	築瀬一雄 著	10022-5	1998/10	45,100	36,080	
185	実験音声学研究	城生佰太郎 著	10023-2	1997/12	18,480	14,784	
188	一中節の基礎的研究 正本集	諏訪春雄・小俣喜久雄 編	10040-9	1999/1	25,740	20,592	
189	験記文学の研究	千本英史 著	10041-6	1999/2	11,220	8,976	
190	うつば物語の総合研究 1—本文編・語彙索引編	室城秀之・西端幸雄ほか 編	10045-4	1999/2	86,680	69,344	
193	国学者 多田義俊南嶺の研究	古相正美著	10071-3	2000/2	15,400	12,320	
194	アルタイ語対照研究—なぞなぞに見られる韻律節の構造	城生佰太郎 著	10077-5	2001/2	29,700	23,760	
196	売立目録の書誌と全国所在一覧	都守淳夫 編著	10082-9	2001/11	44,000	35,200	
198	モンゴル語母音調和の研究—実験音声学的接近	城生佰太郎 著	10096-6	2005/3	15,400	12,320	
220	古語法・同別記	国語調査委員会 編	欠番	1980	7,150	5,720	
221	稲掛棟隆 原著 三集類韻 影印と研究	船城俊太郎 著	欠番	1980	10,450	8,360	
222	仮名源流考及證本写真	大矢透 編纂	欠番	1970	3,850	3,080	
223	日遠著 法華経随音句	中田祝夫 編	欠番	1971/6	2,750	2,200	
225	聊以録 中田祝夫退休自祝記念誌	「聊以録」編集委員会 編	欠番	1978	9,500	7,600	
228	【勉誠社文庫139】詞八衢	本居春庭 著／尾崎知光 解説	00139-3	1990/4	2,563	2,050	
296	【影印注解悉曇學書選集1】平安前期	馬淵和夫 編	00568-1	1985/6	64,077	51,261	
297	【影印注解悉曇學書選集2】平安後期	馬淵和夫 編	00569-8	1988/2	79,200	63,360	
298	【影印注解悉曇學書選集4】鎌倉後期	馬淵和夫 編	00571-1	1989/11	71,500	57,200	
299	【古典資料類従7】元和九年心也開板古活字体 狹衣物語	三谷栄一 解説	00591-9	1977/11	19,800	15,840	
300	【古典資料類従29】梅沢本 栄花物語 6	川口久雄 解説	00610-7	1982/7	11,000	8,800	
305	【抄物大系3】蒙求抄	中田祝夫 編／金田弘 解説	00636-7	1971	7,150	5,720	
306	【抄物大系4】毛詩抄	中田祝夫 編／外山映次 解説	00637-4	1972	14,300	11,440	
307	【抄物大系5】足利本 論語抄	中田祝夫 編・解説	00638-1	1972	7,700	6,160	
308	【抄物大系6】人天眼目抄	中田祝夫 編／外山映次 解説	00639-8	1975	14,300	11,440	
309	【抄物大系別刊】四河入海(三)	中田祝夫 編	00657-2	1971	16,500	13,200	
310	【抄物大系別刊】四河入海(四)	中田祝夫 編	00658-9	1971	16,500	13,200	
311	【抄物大系別刊】四河入海(五)	中田祝夫 編	00659-6	1971	16,500	13,200	
312	【抄物大系別刊】四河入海(六)	中田祝夫 編	00660-2	1971	16,500	13,200	
313	【抄物大系別刊】四河入海(七)	中田祝夫 編	00661-9	1971	16,500	13,200	
314	【抄物大系別刊】四河入海(九)	中田祝夫 編	00663-3	1972	16,500	13,200	
315	【抄物大系別刊】四河入海(十)	中田祝夫 編	00664-0	1972	16,500	13,200	
316	【抄物大系別刊】四河入海(十一)	中田祝夫 編	00665-7	1972	16,500	13,200	
317	【抄物大系別刊】四河入海(十二)	中田祝夫 編	00666-4	1972	16,500	13,200	
318	【湯澤幸吉郎著作集2】国語学論考	湯澤幸吉郎 著	00668-8	1979/8	4,400	3,520	
319	【湯澤幸吉郎著作集3】現代語法の諸問題	湯澤幸吉郎 著	00669-5	1980/1	4,400	3,520	
320	【湯澤幸吉郎著作集4】現代口語の実相	湯澤幸吉郎 著	00670-1	1980/9	4,400	3,520	
326	【キリシタン資料集成4】コンテムツスムンヂ	松岡洸司・三橋健 解説	00705-0	1979/5	13,200	10,560	
327	【キリシタン資料集成6】羅西日辞書	コリヤード 編 大塚光信 解説	00707-4	1979/2	8,800	7,040	
328	【キリシタン資料集成7】羅葡日対訳辞書	福岡邦道・三橋健 解説	00708-1	1979/10	22,000	17,600	
331	【松下文法シリーズ】校訂 日本俗語文典 付遠江文典	松下大三郎 著／徳田政信 編	00814-9	1980/11	5,500	4,400	
398	【人文学と情報処理6】大学の情報処理教育	編集部 編	07006-1	1995/2	1,282	1,025	
399	【人文学と情報処理7】歴史研究と情報処理	編集部 編	07007-8	1995/3	1,282	1,025	
400	【人文学と情報処理14】画像の世界	編集部 編	07014-6	1997/8	1,760	1,408	

401	【人文学と情報処理15】インターネットと学術情報	編集部 編	07015-3	1997/12	1,760	1,408	
402	【人文学と情報処理16】ヒューマンネットワーク宣言	編集部 編	07016-0	1998/5	1,760	1,408	
403	【人文学と情報処理21】自然言語処理のすべて	編集部 編	07022-1	1999/6	1,760	1,408	
404	【人文学と情報処理23】デジタル百科への期待	編集部 編	07024-5	1999/8	1,760	1,408	
405	【人文学と情報処理24】電腦東洋学	編集部 編	07025-2	1999/8	1,760	1,408	
406	【人文学と情報処理25】歴史学系データベースと文字コード	編集部 編	07026-9	1999/10	1,760	1,408	
407	【人文学と情報処理26】文字コード論から文字論へ	編集部 編	07027-6	2000/4	1,760	1,408	
408	【人文学と情報処理28】情報検索	編集部 編	07029-0	2000/7	1,760	1,408	
409	【人文学と情報処理29】リアルワールドとサイバースペースの交錯	編集部 編	07030-6	2000/9	1,760	1,408	
411	【SCIENCE of HUMANITY31】どのように「表外漢字字体表」は答申されたか	編集部 編	07032-0	2001/4	1,760	1,408	
412	【SCIENCE of HUMANITY32】新世紀社会と敬意表現	編集部 編	07033-7	2001/5	1,760	1,408	
413	【SCIENCE of HUMANITY33】国際社会に対応する日本語の在り方	編集部 編	07034-4	2001/6	1,760	1,408	
429	【勉誠社文庫1】古京遺文	狩谷掖斎 著／山田孝雄・香取秀真 増補	10101-7	1970/4	1,980	1,584	
430	【勉誠社文庫2】猿蓑	前田利治 解説	10102-4	1976/4	1,650	1,320	
431	【勉誠社文庫4】法華修法一百座聞書抄	山岸徳平翻字 解説	10104-8	1976/4	990	792	
432	【勉誠社文庫11】活語指南 友鏡・和語説ノ略図	東条義門 著	10111-6	1976/11	1,980	1,584	
433	【勉誠社文庫18】金句集四種集成	福島邦道 解説	10118-5	1977/5	2,640	2,112	
434	【勉誠社文庫20】中華若木詩抄	中田祝夫 解説	10120-8	1977/7	2,420	1,936	
435	【勉誠社文庫23】倭名類聚鈔(元和三年古活字版 二十巻本)	源順 編／中田祝夫 解説	10123-9	1978/3	3,300	2,640	
436	【勉誠社文庫60】日本霊異記 片仮名本	中田祝夫 解説	10160-4	1979/5	1,650	1,320	